

明日に架ける橋 —あなたの可能性が北九州を創る—



2011
vol. 1

Special Talk Session

救急車が北九州とスーダンの架橋に！
川原氏は東北地方太平洋沖地震の発生後
いち早く現地入りし医療支援活動を行われています。

北九州を中心としたNGO組織で国にできない活動を！

永田 本日はありがとうございます。昨年9月に我々北九州青年会議所の例会の講師としてお越し頂きお話を聞かせて頂きまして、何とか川原さん達の行われている活動をお手伝いできないかと色々考えていたのですが、救急車寄贈という形でご協力ができた事を本当に嬉しく思っております。

川原 日本のNGO（非政府組織）ですね、日本ではNPO（民間非営利組織）とも言われますが、世界ではあまり確固たるものがないんですよね。例えば「国境なき医師団」とか「セーブ・ザ・チルドレン」など大きな団体がある中「日本もそれ位のものを造り上げて良いんじゃないのかな」という事が私の思いの中にあり、それである意味オリジナリティを持った形でこの活動をやりたいなという事があったんです。ですが、今の日本のNGOの多くが公的機関に助成金や資金援助をお願いしているという状況もあって、私も最初そうしなくてはいけないと思って外務省に行ったら「川原さん、2年間は頑張ってください」と言われて、2年間くらい頑張れたので、もうちょっと頑張ってみようかという事で、自分でお金を集めはじめたんです。その時、組織の母体を北九州の仲間たちが支えてくれたので「東京に頼るんじゃなくて、ここにしっかり根を張ったら面白いな」と、急に北九州を中心としたNGOを創ろうと思ってきて、北九州って100万人を切ったとはいえ、底力がすごくあるから、そこで「国ができないような事をできないかなあ」と思って、今回も青年会議所の方々にこういう形でご協力頂いて本当にありがたいと思います。

活動の原動力は「プライスレスの世界」。

永田 まず僕ら40歳までの人間が、志を持って青年会議所に入って、世の中の為、地域の為に何かできないかと思っているんですが、自分の会社の仕事や家族など色々な事があって、まだ力を発揮しきれないんです。川原さんは外務省勤務のご経験を活かして、自分の信念の為にそれを辞めてでもやろうとされましたよね。講演の中で「真髄を見るには自ら行動してみないとわからない」とおっしゃいましたが、やはりスーダンに行って医療現場を見たという事がこの活動の原動力でありきっかけですか？

川原 やっぱり実際自分で何かをするという事と、更に今は色んな人を現地に呼んでいますので、話を聞くのと見るのとは全然違いますから…。今日も救急車に一言書いて下さいましたけど、やっぱりあれってすごいと思うんですよ。あれが書かれた救急車が向こうに行って残るって…。いつの日か理事長も来られてその場で見るのと、日本で見るのとは全然違って「あー、あの時自分が書いた字だ！」という感動があるんですよね。まあそういう事って「プライスレスの世界」ですよ。

1965年、北九州市生まれ。福岡県立小倉高等学校を経て九州大学医学部を卒業。高校・大学時代にはラグビー部の主将を務める。1997年、九州大学臨床大学院卒業後、翌1998年に外務省へ入省。在省中にロンドン大学で熱帯医学を履修し、2002年より日本大使館の医務官としてスーダンに勤務。2005年1月にスーダン人への医療提供をするため外務省を辞職し、4月よりスーダンにて医療活動をはじめる。翌2006年4月、NPO法人ロシナンテスを設立、現在に至る。



島田紳助さんとの出会い。

永田 島田紳助さんの「行列のできる法律相談所」で全国的に注目される事になり、多くの方が川原さんに興味を持たれていると思いますが、紳助さんとの出会いのエピソード等はあるですか？

川原 番組の中でもあったのですが、朝日新聞の山根さんという女性の記者の方が書いてくれた「人」という欄を紳助さんがご覧になって「これは面白いおっちゃんがおるからテレビに出そう！」という事がきっかけなんです。後で調べたら、山根さんは紳助さんのお嬢さんと親友で学生時代に紳助さんの家に遊びに行っていたらしいんです。紳助さんも「これはすごい縁やな！」っておっしゃっていました。今も紳助さんとはよくスーダンからメールのやりとりをするんですよ。

一緒に救急車の輸送費を集めましょう。

永田 青年会議所はその運動を広く発信するため、訴求力や知名度が欲しくて色々な事をやっていますが、なかなか難しいのが現状です。そういったところで川原さんの様な著名な方に青年会議所運動にご協力を頂けると大変ありがたいんですが…。

川原 最近、全国のJCに呼ばれる様になり、今回は千葉の柏に呼ばれています。東京は日程があわなかったのですが、大阪にも呼ばれていて受けようと思っています。1,400人も集めるそうですよ。色々なところの青年会議所に呼ばれているんです。

永田 大阪JCさんは会員数が700人以上いるんですよ。ですから彼らが声を掛けるとすぐに千何百人という規模になるんです。地の利も良いです。北九州は250名位です。多い方ではあるんですけど…。東京・大阪・横浜・名古屋、この4つはどこの青年会議所かなわないくらいの会員数を誇っているの彼らの訴求効果は大きい。それでもやっぱり青年会議所の運動は広がりにくいので著名な方に協力して頂いて多くの方に賛同してもらえないと、なかなかムーブメントというのは起きにくいと思っています。

川原 救急車がきっかけになると良いですね。あと、お願いがあるので…。輸送費が確定しておりません。2台で80万円位かかるんですが財源がなくて…。ぜひとも青年会議所さんにも動いて頂いて我々と一緒に手を携えて、市民の方々から輸送費を集めたいなって思っています。

永田 もちろん輸送費集めには全面的に協力させて頂きます！輸送する際は、ぜひ僕もスーダンに呼んで頂けたらと思います（笑）。

「明日に架ける橋」、それは自分が橋になる事

永田 僕が掲げている「明日に架ける橋」というテーマは、自分が橋になるという事なんですよ。「大海が荒れていても自分が橋になってその上を子ども達や家族が渡っていけばいいじゃないか」と、川原さんもまさにそういう考え方と思うんですが、日本とスーダンの架け橋となって、子どもさんも川原さんの背中を歩いて未来に向かって行くんだと思うんですよ。実際、子どもさんと奥さんにお父さんの姿について聞かれた事はありますか？

川原 理解は一応…。特に上の二人は知ってくれていると思います。医者じゃないですけど、国際協力の場に行きたいと思っているようですしね。例えば上の子は大学もそんな所に入りましたし、高1の女の子も将来そんな仕事をしたいって言ってますね。だから、私がやっている事を本格的に見せたり、色々な話をしていこうと思っています。今回の救急車の話も長男にはしました。「北九州から救急車が行くんだよ」と…。

永田 メンバーや地域の方もそうですが、自分のやってる姿を見て次を目指してもらえると「やりがいがあるなあ」とつくづく思いますよね。

川原 橋って色んな架け方があって、日本とスーダンもそうですが、北九州はかなりの高齢化が進んでいるとはいえ、職業としてリタイアされた方もまだまだ働けるし優秀な頭脳を持った方もいらっしゃるの、そういった方と若い方たちとの架け橋にもなりたいなと思います。時代がだいぶ違って仕事のやり方も変わってきていますが、物事の本質を捉えるという事にあたっては、まだまだ相談というか色々な困った時に尋ねたら、恐らく色々なアドバイスが聞けると思うので、そんな架け橋にして行きたいなと思っています。

永田 そうですね。僕も身近な存在であるので、若者には「もうちょっと未来を持ってもらいたい!」と思うんですけど、そういった世代間の架け橋は大切な話ですよ。先人は色々な知恵を持っていますからね。

本当の始まりは40歳から

永田 最後に「JCの若手が…」といってもそれほど若くはないですが…(笑)。みんなが色々な志を持って頑張っているんですが、JCメンバーに対して、また若者に対してエールを送ってください。

川原 そうですね。今日、理事長が救急車に「明日に架ける橋」と書かれ、吉田さん(KDS実行委員会 委員長)が「夢」と書かれたのがまさにその通りで、いかに橋をつくって、いかに夢を具現化させていけるか。若いからどんどん色んな新しい事をやろうという発想で、あとはいかにそれに近づけていけるかがこれからの勝負だと思います。私も今年で46歳になりますが、酔っぱらって好き勝手も言いますが、いつもそれをどうやるかという事を考えていて、一番面白い時期だと思います。その時までにはしっかりとした夢を見ておくのは素晴らしい事で必要な事だと思うんですよね。いかに40歳を超えて、だんだんとその夢を実現し具現化していくかで、人間力というものが高まっていくと思うんですよね。

永田 なるほど! JCは40歳で終わりって風な感じも少しあるのですが、本当の始まりは40歳からですよ。今日は貴重なお時間をありがとうございました。

川原 ありがとうございました。



全文はHPで公開予定!

2011.03.07

厄払い

■開催日:2月16日(水) ■会場:菅原神社

EVENT REPORT

01



2月16日、菅原神社にて昭和46年生まれの男性および昭和54年生まれの女性を対象とした「厄払い」を行いました。「厄歳」など遠い未来の事のように思っていたのですが、私の1つ先輩の方々が「厄払い」を受けられました。そういえば、私のよく知る大先輩の方々も厄年に何かあった方が意外と多い。昔から受け継がれるこの年齢での「厄」にとっても考えさせられました。

昭和46年に生まれ、何かの縁で出会い、こうして同じく厄払いをうける仲間をつなぐJCという絆。とても羨ましく、そして頼りになる風格を感じました。

そして我々、47年子ども会。日本の心と友情の絆を胸に、とにかく心を込めたおもてなしをしよう!「厄払い、懇親会、そして子どもパーティ」と一生懸命務めさせていただきました。ご参加いただいたメンバーの皆様、そして関係各位のご尽力に心より御礼申し上げますと共に、猪突猛進党(昭和46年会)の先輩方には、幸多い年を重ねられます様お祈り申し上げます。

子ども会(昭和47年会) 会長 吉田 幸正

平成22年度 公益信託 北九州市青少年健全育成基金 「積木の箱」助成金授与式

■開催日:2月21日(月) ■会場:ホテルクラウンパレス小倉

EVENT REPORT

02

2月21日、クラウンパレス小倉にて「積木の箱」助成金授与式が開催され、26回目となる本年は、6組の応募団体の中から5団体に助成金が授与されました。

「積木の箱」設立当初と比べ、時代の流れや社会情勢の変化と共に、青少年問題も大きく変化をしています。単に非行に走るだけでなく、虐めや引き籠り、家庭環境によって心を閉ざしてしまうなど様々です。しかしながら、子どもたちの事を熱心に考える市民の思いはいつの時代も変わらないと、この授与式を通じて強く感じる事が出来ました。

当日は天候にも恵まれ、運営委員を始め助成金授与団体、メディア関係者、そして北九州JCを含め総勢35名での開催となり、和やかな雰囲気の中、信託管理人芳賀様、運営委員長松尾様よりそれぞれ目録が授与されました。

最後に、今後も青少年育成事業を行っている多くの団体より、助成の申請を求めているだけという協力を進めて参りたいと思います。



アカデミー第2委員会 委員長 花田 英孝

2011年度 公益社団法人日本青年会議所 九州地区 福岡ブロック協議会 第29期 アカデミー開校式

EVENT REPORT

03

■開催日:3月5日(土) ■会場:北九州八幡ロイヤルホテル

3月5日、北九州八幡ロイヤルホテルにて2011年度公益社団法人日本青年会議所九州地区福岡ブロック協議会「第29期アカデミー開校式」が開催され、五常の徳「仁・義・礼・智・信」をグループテーマに1年間のスタートを切りました。

開校式前には田川JCの歴代理事長の佐野前明先輩による座禅形式の講演が行われ、その後に行われた開校式式典の部には、福岡ブロック協議会 小野会長をはじめ、ブロック役員と21LOM理事長も駆けつけていただきました。

「次世代に伝えていく、美しき日本の心」をテーマにした金美齢氏による講演会では、77歳とは思えないほどエネルギッシュで、一生心に残る素晴らしい話を聞くことができ、その後の大懇親会では各アカデミー委員会でのアトラクションが行われ、大いに盛り上がる事が出来ました。

今年一年間ブロックアカデミーに積極的に参加し、そこでしか経験できない多くのことを吸収して、今後のJC活動に生かしていきたいと思います。

福岡ブロック協議会 アカデミー第1委員会 古賀 龍太



NPO法人 ロシナンテス 救急車寄贈式

EVENT REPORT

04

■開催日:3月7日(月) ■会場:社団法人 北九州青年会議所 事務局



3月7日、国際貢献活動の一環としスーダンにて医療活動を行うNPO法人ロシナンテスに救急車2台を寄贈いたしました。

昨年9月、北九州出身である川原理事長をお招きし講演会「アフリカ・スーダンで見つけた光、その光を日本に」が行われました。KDS実行委員会は、次世代の子どもを育てる事業です。栄養失調で苦しむ子どもたち、台車で運ばれる患者。生きることに一生懸命なスーダンの子どもに対し、水、電気、衣食住に不自由ない日本の子どもはとても対照的でした。問題意識をもち、何かできることはないだろうかといろんな方と話をする過程で、北九州市に廃棄処分される救急車があることがわかり、それを譲り受け、今回の救急車両寄贈を実現することができました。メンバーの強い気持ちがあったからこそ可能となったといえます。わたしたちの強い思いとともに送られる救急車がスーダンの子ども達のどんな夢また将来へと形をかえるのか待ち遠しく思います。

KDS実行委員会 副委員長 林田 直子

インフォメーション

INFORMATION

4月度例会のお知らせ 真の国際人育成例会

【日時】4月8日(金)18:30~20:45
【会場】ホテルニュータガワ

仁川富平JC
来訪

4月度の例会は仁川富平JCメンバーを迎え入れての国際例会となっております。

仁川富平JCメンバーとの国境や言葉を超えた友情の構築、そして世界恒久平和の実現を目指す国際的視野と日本人としてのアイデンティティを兼ね備えた真の国際人を育成するために、多くの北九州JCメンバーが仁川富平JCメンバーとの国際交流を通じ、お互いの文化や歴史、伝統、国家の現状を理解し、尊重し、讃えあう場にします。また、例会終了後には仁川富平JCメンバーのウェルカムパーティーを行ないますので、ひとりでも多くのメンバーに出席していただくようお願いいたします。

【お問い合わせ】例会委員会 委員長 松田 健一郎

全員参画! ~TRY JAYCEE 1to1!~ 会員数300名体制の確立を目指して!

2012年度第61回全国会員大会北九州大会開催は、「明るい豊かな北九州の実現」というビジョンに近づくための大いなるチャンスです。この大会で学び得る多くの経験を広く北九州市民に伝播するには、一人でも多くの方が北九州JCメンバーとして参画する事に他なりません。

全員参画!「一人が一人、仮入会者を紹介する!」。新しい多くの出逢いをみんなで新入会へと導いて参りましょう!!

気軽にJCを体験できる場として
仮入会者の方をお連れください!!

【日時】4月21日(木)19:00~21:00
【会場】リゾート&レストランバナナリーフ
【会費】¥4,000

【お問い合わせ】JAYCEE拡大委員会 委員長 山賀英生



到津の森公園 だより

どうぶつの かみさま

文・人形 石原裕久

やきものでつづる絵本人形展

3/19土・5/31火

 ■時間 9:00～17:00 ※5月3・4・5日は19:00まで(会期中は無休)
 ■会場 管理センター2階ロビー(観覧無料/入園料必要)

 福岡県出身の陶芸作家、石原裕久さんによる焼きものの絵本人形展を開催します。
 素朴で表情豊かな焼きものの動物たちが、メルヘンの世界から語りかけます。
 「セルゲイとコッパル」など全5話のストーリーが、人形たちによってあなたの目の前に現れます！

 わくわく体験教室
 紙ねんどで鉛筆立てを作ろう

4月10日(日)・24日(日)
13:00～15:00 ※受付は13:45まで

 料金 1個 200円(材料費)
 ※別途入園料が必要

 場所 里のいきもの館
 レクチャールーム

 企画展開連イベント
 土のおはなし

4月29日(金・祝)
13:00～14:00

場所 管理センター3階会議室

 石原裕久さんが今回の企画展や
 作品についてお話しする
 トークイベントを開催！

 詳しくはホームページで <http://www.kpfmmf.jp/zoo/>

Giravanz

月刊ギラヴァンツ通信


 子どもたちに「夢に挑戦することの大切さ」、「かけがえのない貴重な体験」
 「自分で考えて行動する自主性」、「感謝することの大切さ」を伝えていきたい

ジュニアサッカースクール生 (新小学1～6年生)募集!!

- | | |
|--|---|
| ■スクール会場(月会費/会場)
日明校 (5,000円/Foot-i小倉)
桃園校 (4,000円/桃園運動場)
香月校 (4,000円/香月中央公園)
新門司校 (5,000円/新門司球技場) | ■年会費
初回入会時:5,000円
2年目以降:3,000円
(※年会費にはスポーツ保険料等を含みます)
■ユニフォーム代
5,000円(※入会時には必ずご購入いただきます)
■コーチングスタッフ
千疋 美徳 (日本サッカー協会公認S級コーチ、2010年度トップチームコーチ)
日高 智樹 (2003～2009 ニューウェーブ北九州・2010 ギラヴァンツ北九州所属)
山口 真吾 (北九州市出身、日本サッカー協会公認C級コーチ) |
|--|---|
- お問い合わせ先**
 ギラヴァンツ北九州ジュニアサッカースクール事務局
 Tel.093-863-6777(受付時間 10:00～17:00 火～金曜日)



試合中止のお知らせ

 東北電力・東京電力管内における電力事情と、スタジアムおよび
 来場者の安全確保等を考慮し、下記の試合は中止となりました。

- 【第5節】4月 3日(日) vs FC東京**
【第6節】4月10日(日) vs 湘南ベルマーレ
【第7節】4月17日(日) vs FC岐阜

【第8節】よりリーグ再開予定

4月24日(日)16:00 Kick Off
vs ガイナーレ鳥取
会場:本城陸上競技場
 当日は東北地方太平洋沖地震被災地支援の
 募金活動を実施予定です。

ホームページ情報

 YouTubeでトレーニングゲームなど、
 普段なかなか見られない映像を配信中！

<http://www.giravanz.jp/>

オフィシャル モバイルサイト

 携帯だけのレア情報満載！
 ※一部有料:月額315円(税込)


公益社団法人 日本青年会議所 2012年度 第61回 全国会員大会

北九州大会 成功に向けて



社団法人 豊前青年会議所

2011年度 理事長 高瀬 忠通 君

Buzen JC

我々(社)豊前青年会議所は、福岡県の東端、豊前市及び築上郡内3町を活動エリアと定めて青年会議所活動を行っており、本年で創立40周年を迎えます。

これまで我々が行ってきた地域内の小中学生を対象とした寺子屋出前授業などの青少年育成事業や、道の駅誘致運動などのまちづくり事業には、本当に多くの方々より青年会議所に対するご理解とご協力を賜ることが出来ています。

これもひとえに、(社)北九州青年会議所様をはじめとする全国各地の仲間達(JAYCEE)の直向な活動の賜物と、本当に感謝しております。

つきましては、来年度開催される全国会員大会北九州大会において、我々豊前青年会議所も大会を主管される北九州青年会議所様のお手伝いをさせて頂くことで、全国の皆様へ我々の思いも届けさせて頂きたく思っております。多くの方々のご参加を心よりお待ち申し上げます。



社団法人 飯塚青年会議所

2011年度 理事長 室井 秀行 君

Iizuka JC

私たち(社)飯塚青年会議所は、近年地域と密着した協働事業を中心に取り組み、更には「灯明事業」や飯塚の夏の風物詩「飯塚山笠」の運営など、地域に定着した継続事業にも長きに渡り力を入れております。そこで本年度は更に地域に必要とされるJCを目指し、行政と連帯を強化し地域の皆様のダイレクトな声を情報収集すると共に、それらを分析し「本当に必要とされる事業」の展開を通して、JC運動の情報発信にも力を入れて参ります。

また、本年度は新入会員も15名(3月時点)と各LOMの責務であります会員拡大も担当委員会をはじめとするLOM一丸の拡大方針にて、順調な滑り出しとなり、会員数も現時点で97名となり、今後も今以上に拡大に取り組んで参ります。

結びに、2012年度に行われます、全国会員大会の開催につきましては、主管である貴青年会議所と私たち福岡ブロックの各LOMの団結をより強固なものとして取組み、我々も大会成功に向け全力で協力させていただきたいと心より願いますと共に大会の大成功を強く祈念いたしまして応援の言葉に代えさせていただきます。

がんばろう NIPPON

確かな一歩を踏み出そう



東北地方太平洋沖地震について

この度の東北地方太平洋沖地震におきまして、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々とご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。現地に於いて、被災者救助や救援活動をおこなわれる皆様に敬意と感謝の意を表します。

私たち北九州JCといたしましても、義捐金活動や支援物資などの支援などをも視野に入れ、被災された方々のお役に立てよう支援して参る所存です。被災地の皆様が、一日も早く普通の生活に戻れますよう、皆様のご無事を心よりお祈り申し上げます。

社団法人 北九州青年会議所 第59代理事長 永田 康浩

ホームページでイベント情報や 活動報告を今すぐチェック！

 ケータイからも
アクセスOK!
 ※機種により閲覧できない
ページや画像があります。

北九州青年会議所

検索

<http://www.kitakyushu-jc.jp/>
